

# 全国のお父さん、お母さんに呼びかけます 教育基本法「改正」案は子どもたちを不幸にします!

いま、教育基本法が「改正」されようとしています。現在の教育基本法は、子どもと教師、親と教師、教師同士の相互信頼にもとづく子どもの持っている能力のすべてを開花させる共同の教育を実現しようとするものです。ところが政府の「改正」案が成立すれば、教育は競争的なものになり、子どもたちは従順な態度を求められ、学校教育は息がつまるものになります。



## ■ 子どもの「愛国心」が評価される…

政府の「改正」案では教育の目標として「わが国と郷土を愛する…態度を養うこと」が新たに盛り込まれています。全国の学校で「愛国心教育」が推進され、「お国の役に立つ人間になること」が子どもたちに教え込まれ、どれだけ「愛国心」を身につけたかが通知表で評価されます。私学も建学の精神にかかわらず、「愛国心教育」を行うことが求められるので、私学に「逃げる」こともできません。

## ■ 教育基本法「改正」でいじめはなくなるの？

いじめ問題の解決には子どもと教師、親と教師、そして教師同士の信頼と共同が必要ですが、教育基本法「改正」案では、そのような「教育の自由」に関わる部分がすべて削除されてしまいます。いじめが多発するのは、子ども集団が受験競争と管理の圧力をうけてやり場のないストレスを抱えているからです。日本のほとんどすべての子どもたちは競争から逃れることはできず、傷を負います。たとえうまく切り抜けて“勝ち組”エリートになっても、競争の中で人格が形成されないホリエモンになるのがおちです。それなのに、教育基本法の「改正」で受験競争と管理の圧力はますます高まります。

いまの教育基本法がかかげる、人間の尊厳を大切にする教育、教師は子どもや親が発する声に日常的に応えて教育を行うという考え方を実現することこそがいじめをなくす最良の道です。

## ■ 「改正」案のねらいは学力テスト、学校選択で小学校から「大競争」を組織すること

安倍首相や自民党、公明党は小学校から学力テストや学校選択を導入し、自治体や小中学校の間で、そして子ども同士を競わせる、今以上の競争的な教育制度に移行させようと考えています。また法律で定めれば国が教育の中身まで自由に決められるようにしようとしています。さらに、教育振興基本計画で「学力」の数値目標を定めそれを学校に押しつけようとしています。大競争のもとで大量に発生する競争“負け組”をおとなしくさせるために「愛国心」や日本人としての規範意識などを身につけさせようとするのです。

何千万の子どもたちを不幸にする教育基本法の改悪に反対しましょう!

いまの教育基本法の理念を生かしましょう!



このチラシは教育基本法「改正」情報センターが作成したものです。センターのHP(<http://www.stop-ner.jp/>)からどなたでも自由にダウンロードし印刷できます。配布にあたっては各個人・団体の責任で行ってください。